

## 生涯、自分の歯で食べられる楽しみを 歯の8020表彰に5名が受賞

2月18日に行われた町社会福祉大会で「歯の8020運動」の表彰式が行われ、5名が受賞しました。生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるようにとの願いから始まった「歯の8020運動」。受賞した岩松周三さんは「いつまでも自分の歯で物を食べられるように、食後はしっかり歯磨きをしている」と笑顔で答えました。



写真左から▶藤崎正美さん（久木野）、岩松周三さん（木場）、牧原道男さん（長谷）、森轄隆さん（鳥浜）、大山睦美さん（塩屋）

県社会福祉協議会の東平正孝主幹が講演を行い、孤独死対策として、支援の必要な家を地図で記す「支え合いマップ」を紹介。



## 錦江町社会福祉大会で講演や事例を発表 元気な時に家族と話し合う大切さ

町文化センターで2月18日に開催された社会福祉大会に約70名が参加し、講演や事例発表が行われました。町内の病院や介護施設に勤める3名が、施設での取り組みや支援、治療の選択肢などを発表。人生の最期は突然やってくるもので、元気な時に自分が望む治療方法などについて家族と話し合っておく大切さを伝えました。

## 魅力的な鹿児島島の風景を集め世界中に発信 フォトドラに「照葉樹の森」認定

豊富な観光資源の発信や新たな観光資源を発掘し、国内外に鹿児島島の魅力を伝えて行くことを目指すために発足された「かごしまフォトドライブプロジェクト」。その情報発信場所として「照葉樹の森」が認定を受けました。「神川海岸の影絵アート」や「大根やぐら」の認定を受けており、今回で4か所目の認定。



照葉樹の森は西日本最大級の照葉樹林で、国の天然記念物にも指定されており、散策や登山などが楽しめるスポットです。

認知症の正しい理解と認知症の方が生活しやすい工夫などを行う事業所を「認知症フレンドリー事業所」に登録しています。



## 「認知症フレンドリー事業所」第3号登録 現場などで積極的な声掛けを実施

認知症になっても安心して生活できるよう町づくりを目指すために(株)大山組を「認知症フレンドリー事業所」に登録し、ステッカーの交付を行いました。(株)大山組では、「ゆうゆうカフェ」開催時に使用する椅子の提供や工事現場などで見守りが必要な高齢者を見かけた際の積極的な声掛けなどに取り組んでいます。

植林して間伐などの管理を行いながら40年以上育て、伐採に適した木に成長。伐採した木を使い、再び植え育てる森林サイクルは持続的に木材を利用していくために必要なことです。



## 伐採・植樹イベントを開催 未来へつなぐ森林の創造

2月15日、大隅森林組合が町総合運動公園の周辺山地で「木育」の一環として伐採・植樹イベントを開催しました。林業機械の搭乗体験や杉の植樹などが行われ、大根占小5年生の児童26名を含め、約100名が参加。大根占小の川崎優奈さんは「機械の操縦やたくさんの苗を植えて楽しかった。大きく育ててほしい」と話しました。

## 神川上長寿会が初めて案山子作りに挑戦 みんなが集まるきっかけ作りに

2月8日、神川上長寿会の会員16名が参加して案山子作りを行いました。みんなが集まるきっかけ作りになれば今回初めて挑戦し、スポンジや自宅不要となった服などを使用して案山子3体を作成。神川上長寿会の新原昭子会長は「自宅から出てみんなと話をするきっかけになってほしい」と笑顔で答えました。



神川上長寿会には約40名が所属しており、毎週水曜日に体操やグラウンドゴルフなどの活動を楽しみながら行っています。

漁協壮年部の染川和希部長は「触れる楽しさや食べる喜びを知り、魚や漁業に興味を持ってほしい」と期待を寄せました。



## 漁協壮年部が「おさかな教室」を開催 特産のカンパチを自分たちで調理

魚離れが進む子どもたちに、魚や海の魅力を知ってほしいと漁協壮年部が「おさかな料理教室」を行いました。20年以上続く恒例の料理教室で、今年は3日間に分けて行い、2月1日には神川小と池田小の児童16名が参加。指導を受けながら自分たちで刺身にした新鮮なカンパチを満面の笑みで頬張っていました。